

～第一軍管地方二万分一迅速測図原図に見る～

平成 30 年 3 月作成

この迅速測図原図の原本は、測量の平板に紙を貼り測量の画線を直接書き込んで最後に彩色を施した、当時の測量技師によ

る手描きの原図そのもので印刷物ではありません。この彩色による地図作成はフランスの技術を取り入れたもので、フランス式彩色地図と呼ばれます。その後、地図作成はフランス式からドイツ式に改められたため、このような彩色地図は作られなくなります。なお、この成果を使用してドイツ式による1色(黒)刷の二万分一迅速測図が後に刊行されています。

彩色式の迅速測図が広域で作成されたのは日本中で関東平野だけであり、伊能図が作られなかった霞ヶ浦・北浦の測量図としては最も古いものです。迅速測図原図には、当時の土地利用の状況、流入河川や湖岸の形状及び集落の家屋一軒一軒が正確に記録されており、明治時代になって十数年しか経っていない、即ち江戸時代末期とほとんど変わらない霞ヶ浦周辺の当時の様子を偲ぶことができます。

衛星写真のなかった時代の霞ヶ浦・北浦を、空から眺めるとこの地図のように見えたことでしょう。

